

高校生による SDGs グローバル対談



岐阜新聞掲載

2020年
9月28日

SDGsを周知
難民支援で対談
三承工業、岐阜市で催し

国連の持続可能な開発目標（SDGs）への取り組みに力を入れる住宅メーカー・三承工業（岐阜市水主町）は、難民支援に関する対談や無農薬食品の販売を通してSDGsを周知する



イベント「くらしのマルシエ」を岐阜市橋本町のアクティブGで開いた。

イベントでは、カンボジアへのマスク寄付などに取り組んできた名古屋経済大市邨高の生徒有志が、ヨルダンで難民の経済支援を行う林芽衣さんとオンラインで対談。林さんはコロナ禍で経済活動が止まった現地で、難民を電話で励まし続けたエピソードなどを紹介した。生徒は「人を助けるために今できることを全力でやっていきたい」と決意を新たにしたい写真。対談の様子は動画投稿サイト「ユーチューブ」でも配信された。

無農薬の茶や大豆、竹の歯ブラシなど環境に配慮した商品の販売も行われ、多くの買い物客でにぎわった。

（犬飼剛久）

国を越えて助け合おう！ YouTube Live 配信
一人ひとりの優しさをつなぎたい！！

市邨高校 SDGs 有志メンバーは、海外のNGOと協働し国際問題について学び続けています。中東ヨルダンで難民の経済支援を行っている林芽衣氏とオンライン接続、私たちとの公開対談会を開催します。

高校生による
SDGs
グローバル
対談開催

2020年9月21日(月)
15:00~15:30

参加申込みはこちら
YouTube Live
Gifu station

場所 JR岐阜駅内 アクティブG 2階 会議室
YouTube LIVE 配信(限定公開)
主催 名古屋経済大学市邨高等学校
協力 三承工業 市邨(いちむら)学園
後援 独立行政法人 国際協力機構(JICA) 毎日教育総合研究所

はやし めい
講師 林 芽衣 氏(トライパロジー代表)

内戦等から開国ヨルダンへ逃げてきた難民たちを雇い、アラブ伝統の刺繍をあしらった小物を制作、販売している。家族や子供を失って絶望の淵にいた難民女性たちに、収入と希望をもたらす

市邨(いちむら)高校 SDGs 有志活動ホームページ
※これまでの「地域と社会と協働してSDGsを学ぶ活動」については学校HPまで(社会科 松野至)